

家族第一 パパドクターの先駆者に！

平成 29 年度 第 3 回
最優秀賞

我が家のパパ



萩市民病院の小児科医

- ・月の半分以上が待機。
- ・夜間に発熱した子どもや救急車で受診される小児患者はすべて対応。

実は・・・

ママも医師（娘が 4 か月の時からフルタイムで復帰）



ママが当直の際のパパ

- ◆ 保育園に娘を迎えに行き帰宅
- ↓
- ◆ 自分と娘の夕食（ほぼ自炊）
- ↓
- ◆ 食器洗い
- ↓
- ◆ 入浴／寝かしつけ
- ↓
- ◆ 洗濯
- ↓
- ◆ 翌日保育園に持っていくカバンの用意
- ↓
- ◆ 就寝
- ↓
- ◆ 起床／朝食／身支度
- ↓
- ◆ 保育園に送る



※ 部屋も整頓されており、ママが帰宅後、散らかっていることはまずない！

パパが日ごろ行っている家事・育児

- おむつ交換
- 料理
- 掃除洗濯
- 妻の相談相手
- 屋内遊び
- 自然体験
- 1 日中娘と 2 人きりでも、すべての家事育児ができる
- ミルクや離乳食をあげる
- お風呂
- 絵本等の読み聞かせ
- 子どもの相談相手
- 屋外の遊びやスポーツ
- 勉強やマナーを教える

こんなことしています！

● 娘の急な発熱への対応



娘が保育園にいる間、発熱した時もパパがすべて対応。パパが急患などで職場を離れられない場合は、自分でサポーターさんへ連絡し、職場に連れてきてもらい、その後病児保育へ連れて行ってもらうなどの手配をしている。

● 平日の半分以上の家事育児



ママの通勤がかなり長いこともあり、平日は半分以上の家事育児をパパが担当。周りからも「すごいイクメンだね！」とよく言われている。



多くのママ女医さんが普通に頑張っていることを男性医師がするだけで、驚かれるのは変だ。僕はイクメンじゃなく、ただの父親。

ママからのひとこと

パパがこの賞を受賞することで、県内のドクターの間でも、ワークライフバランスを見つめ直すきっかけになればと思っています。「男性医師は昼夜病院で働くのが当たり前」というような前時代的なことを言う方も多くいますが、命にかかわる医師だからこそ、きちんと休息を取って、常に良いパフォーマンスができるよう、自己管理すべきだと思います。

